

# 姫路市児童生徒科学作品展に拾った蝶について

木村三郎

## I). はじめに

9月になると姫路市立科学館において、夏休み中に集めた昆虫等の作品展が開かれる。

私は科学館の運営委員の一員として、児童生徒たちに昆虫の採集、飼育等の事前・事後指導を担当しており、出品された昆虫の標本を調べたりまた直接採集者に会って、採集当時の模様やその地域の生息状況について話し合ってきた。

なにも普通種が多いが、ときには思いがけない、珍種に接することがありこの種の会の楽しみである。いままでに確認できた多くの資料の内から注目すべき蝶を報告し、その種の県下における採集例と一部解説を付記して報告します。

## II). クロアゲハ *Papilio protenor* CRAMER (無尾型)

写真・表紙(表面)・1(裏面)

1980年8月2日市立城乾中1年生、小坂潤一君が、姫路市砥堀付近の山中で昆虫採集中偶然ネットにした内の1頭である。当初、ナガサキアゲハの♂だろうと思っていたが展翅中に赤斑がないのに気付き、その夜小坂君のお父さんが私の家へ電話されてきて、クロアゲハの無尾型と判明した。

無尾型が兵庫県内で採集された例は珍しく、現在までに下記の5例が報告されている。

〈採集記録例〉

- |           |     |              |       |
|-----------|-----|--------------|-------|
| ① 六甲山麓    | ?   | VIII 1933年   | 加地早苗氏 |
| ② 神戸市外本山村 | 1♂夏 | ? 1938年?     | 谷口和義氏 |
| ③ 三原郡南淡町  | 1♂春 | 15 V 1967年   | 藤平 明氏 |
| ④ 淡路島     | ?   | ? 1968年?     | "     |
| ⑤ 神戸市北区   | 1♂夏 | 下旬VIII 1979年 | 毛利明子君 |

(山本広一氏私信)未発表

クロアゲハは図鑑等によると日本、朝鮮半島産のみ尾状突起があり(有尾型)その他の地域(西部支那系)に分布するものは尾状突起がない(無尾型)。

世界的に見ると無尾型の方が多く有尾型は少ない。

本州から九州にかけてのものは尾状突起が長く、南西諸島へと南下するほど短くなる傾向があり、クライン現象を呈している。

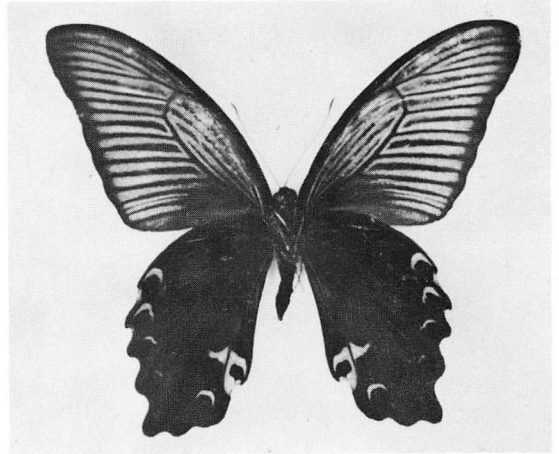


写真1:

〈採集データ〉 姫路市砥堀、2 VIII 1980 小坂潤一

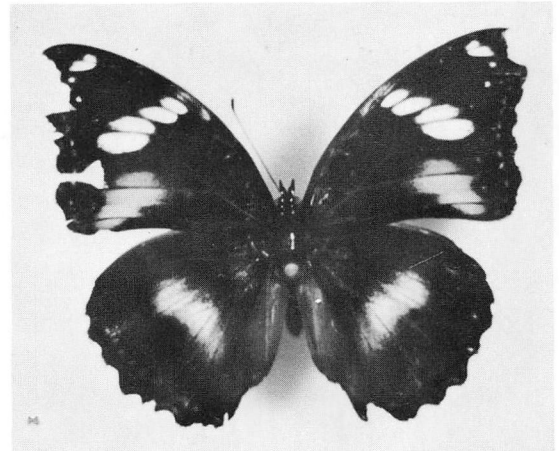


写真2:

〈採集データ〉 姫路市豊富町 24 VIII 1978 山本邦明

八重山諸島では有尾、無尾の両方の遺伝形成が混じりあって、尾状突起の長さにはいろいろな変化がみられる。有尾の遺伝子が優性で無尾の遺伝子が劣性であるといわれている。

クロアゲハの無尾型が少ないのは無尾の遺伝子そのものが少ないこともあるが劣性であるため形質として現われにくいことも少ない理由の1つであると報告さ

れている。

播磨地方ではおもに、ウンシュウミカン、ダイダイ、等栽培種、カラタチ・サンショウ・カラスザンショウ・フザンショウ・キハダ・コクサギなどを食草としており、年3回の発生で5月の中旬頃から10月の中旬頃まで見うけられる。

### III). リュウキュウムラサキ *Hypolimnas bolina* LINNAEUS 写真2. (パラオ型♀)

すこし前の記録であるが1978年8月24日当時市立豊富中2年生の山本邦明君が姫路市豊富町神谷の自宅近くの畑のなかで飛んでいた1頭♀を採集したところ、本種であることがわかった。

採集された♀蝶は台風によってパラオ諸島から、はこばれたものと思われ1部かけているがひかくてき新鮮な個体であった。

兵庫県内で採集された例は珍しく♀は2頭目である。なお現在までに下記のとおり5例が報告されている。

〈採集記録例〉

- |          |          |         |       |       |
|----------|----------|---------|-------|-------|
| ① 西宮市内   | 1♀(パラオ型) | 2 X     | 1957年 | 田中藩氏  |
| ② 洲本市宇山  | 1♂       | 20 VIII | 1959年 | 梅元晃義氏 |
| ③ 宝塚市武田尾 | 1♂       | 12 IV   | 1963年 | 岡村八郎氏 |
| ④ 相生市    | 1♂       | 3 XI    | 1967年 | 松尾〇〇君 |
| ⑤ 三原郡南淡町 | 1♂       | 30 VIII | 1968年 | 藤平 明氏 |

### IV). おわりに

以上報告するにあたって資料の提供や有益な助言をいただいた、相坂耕作・家永善文・岩村巖・尾崎勇・広畑政己・山本広一の各氏をはじめご協力をいただいた小坂潤一君・山本邦明君・前科学館館長丸尾準治先生・科学館館長小林茂一先生と事務の松本氏に厚くお礼を申し上げます。

### 参 考 文 献

- 谷口和義 (1938) 神戸産蝶類雑記(1) 昆虫界, 6(55): 761-762
- 加地早苗 (1940) 最近の六甲連山の蝶類目録 昆虫界, 8(55): 442-452
- 山本広一 (1968) 兵庫県下に注目すべき種類の蝶(1) MDK NEWS. 20(3): 15-18
- 藤平 明 (1968) 淡路島でクロアゲハ無尾型を採る蝶と蛾, 19(3-4): 114
- 坂口 操 (1963) 洲本市でリュウキュウムラサキ *PARNASSIUS* (10): 4
- 登日邦明 (1974) 淡路島の蝶相(1), 佳香蝶No.26
- 米村和繁 (1979) 相生市の迷蝶 てんとうむしNo.5: 14
- 川副昭人・若林守男: 原色日本蝶類図鑑 (保育社)
- 白水 隆 原色昆虫大図鑑1 (北隆館)
- 藤岡知夫 日本の蝶 (主婦と生活社)
- 白水隆・原 章: 原色日本蝶類大図鑑1 (保育社)

藤岡知夫 : 日本産蝶類大図鑑 (講談社)

(S. 03: SABUROU KIMURA 飾磨郡夢前町 )

### アカジマトラカミキリ (*Anaglyptus bellus* MATSUMURA et MATSUSHIMA) 多数採集す

黒 田 収

ながらく同好者の憧れの的であった晩夏のカミキリ、アカジマトラカミキリを昭和55年10月5日に氷の山横行登山道添のケヤキの老木の比較的新しい伐採木上で多数採集した。

兵庫県内では、ごく最近まで記録がなかったと思われる。筆者は5♂25♀(その内交尾中が3ペア)計30exs採集した。

当日天候は良く、晴で気温も平年並以上で時間はPM 2:00~PM 3:30であった。

尚、同地にてヤノトラカミキリ (*Xylotrechus yanoi* GRESSITT RD) も同年9月23日に相坂氏が死体で1ex。筆者も9月28日にケヤキ伐木上に飛来した1exを採集しているので合わせて報告する。

(S. 14: OSAMU KURODA 姫路市 )

### 神崎町でメスアカミドリシジミ採卵

石 井 為 久

本種は県下北西部の中国山地を中心に、標高400m~900mの山地に広く分布する。

市川支流の越知川上流は標高及び地形上、本種の棲息が可能と思われるので、採卵を行ったところ、本種の卵をヤマザクラより13卵発見することができた。

現在まで県下で市川以東は未記録であると思われるので発表した。

採卵場所…神崎町越知川上流、標高500m付近

採卵月日…1979年3月19日

飼育結果…3月26日~27日にかけて13頭すべて孵化した。そして、5月10日~5月15日にかけて6♂5♀が羽化した。

(S. 15: TAMEHISA ISHII 兵庫県神崎郡福崎町 )